

第 7 回 御嶽山噴火に伴う木曽川上流域水質保全対策検討会

検討会結果概要

(議事内容)

1. 検討会の経過

- ・平成 26 年 9 月 27 日の噴火から現在までの経緯を振り返り説明。

2. 牧尾ダム等への影響と経過

- ・火山噴出物による牧尾ダム等への影響と、噴火から現在までに機構が実施した保全対策、調査等について経過を説明。

3. 牧尾ダム等へ水質調査結果と今後の対応

- ・調査結果より PH、濁度が噴火前と同程度で安定していること、貯水池底部表面の土壌に火山噴出物が確認されないことから、今後も影響が生じることはないと判断し、水質監視の項目、調査頻度は令和 2 年 8 月より噴火前の平常時のレベルに戻す。また、牧尾ダムの汚濁防止フェンスは令和 3 年春期までに撤去し、フェンス撤去の影響がないことを確認した後に点検放流を終了する。

4. 今後の検討会の運営について

- ・次回（第 8 回）の検討会は、牧尾ダムの汚濁防止フェンス撤去、その他保全対策等の終了、影響の有無を確認した結果を報告する。
- ・検討会の存続の要否について、事務局にて関係機関の意向を確認し、次回検討会までに整理する。

以 上